

三重県内経済情勢（平成 23 年 3 月の指標から）

県内経済は持ち直しの兆しがみられたが、東日本大震災の影響により弱まっている。（生産は大幅に減少している。個人消費は弱い動きとなっている。雇用情勢は依然として厳しい状況にあるが、改善の動きがみられる。）

1. 概況

（生産）

鉱工業生産指数は 2 か月連続で低下し、東日本大震災の影響などから大幅な低下となった。

【図 1】

（消費）

大型小売店販売額（既存店調整値）は、前年同月を 2 か月ぶりに下回った。【図 2】

コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の 5 県）は 5 か月連続で前年同月比増となり、家電販売額（中部 8 県）は 4 か月連続で前年同月比減となった。

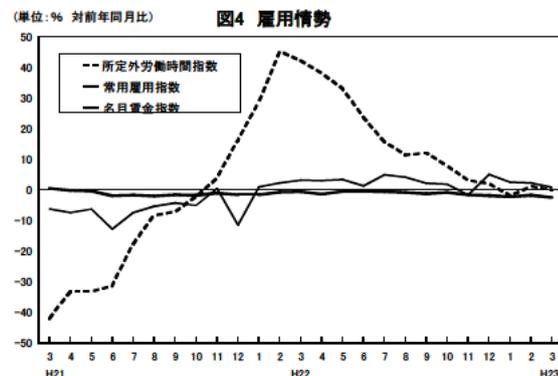
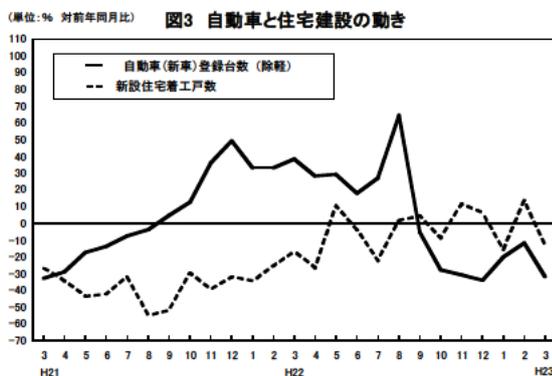
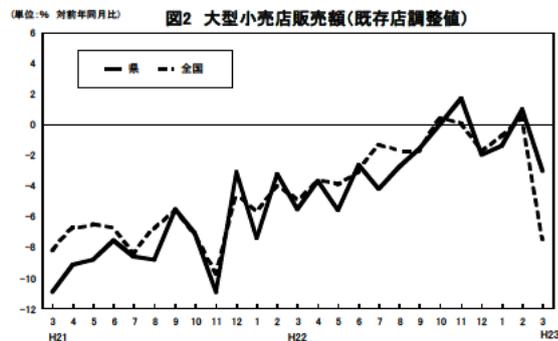
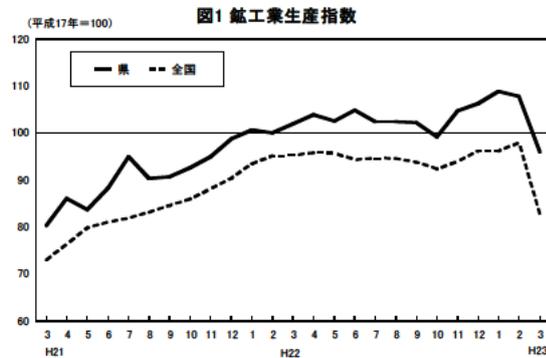
自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は 7 か月連続で前年同月比減となり【図 3】、軽自動車販売台数は 6 か月連続で前年同月比減となった。

新設住宅着工戸数は、2 か月ぶりに前年同月比減となった。【図 3】

（雇用）

有効求人倍率は 0.73 倍となり、前月を 0.01 ポイント上回った。

所定外労働時間指数は前年同月と同水準、常用雇用指数は 25 か月連続で前年同月比減、名目賃金指数は 4 か月連続で前年同月比増となった。【図 4】



2. 主要経済指標の動き

(1) 生産活動

- ・ 鉱工業生産指数（H17=100）は 95.9 となり、前月比 11.0%減と 2 か月連続で低下した。
- ・ 県内主要 3 業種では、電気機械工業（旧分類）（113.0）が前月比 22.1%減、輸送機械工業（50.5）は前月比 34.2%減となったが、化学工業（98.5）は前月比 9.3%増となった。
- ・ 鉱工業生産者製品在庫指数（H17=100）は 108.1 で、前月比 5.0%増と 2 か月ぶりに上昇した。

（※電気機械工業（旧分類）は、日本標準産業分類（平成 14 年 3 月改定）の「電気機械工業」「情報通信機械工業」「電子部品・デバイス工業」をまとめたものです。）

	12月	1月	2月	3月
鉱工業生産指数	r 1.5	r 2.4	r -1.0	-11.0
（電気機械工業：旧分類）	r 4.4	r -2.3	r 2.6	-22.1
（輸送機械工業）	r -0.5	r -1.9	r -2.4	-34.2
（化学工業）	r 1.3	r -1.9	r 4.9	9.3
鉱工業生産指数（全国）	r 2.4	r 0.0	1.8	-15.5
鉱工業生産者製品在庫指数	r 8.9	r 0.7	r -7.8	5.0

※平成 22 年 1 月～の数値は、年間補正により再計算。

(2) 個人消費

- ・ 県内の大型小売店販売額（既存店調整値）は、前年同月比 3.0%減と 2 か月ぶりに減少した。
- ・ コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の 5 県）は 5 か月連続で前年同月比増となり、家電販売額（中部 8 県）は 4 か月連続で前年同月比減となった。
- ・ 自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は前年同月比 31.8%減となり 7 か月連続で減少し、軽自動車販売台数も前年同月比 30.7%減となり 6 か月連続で減少した。全自動車では前年同月比 31.4%減と 7 か月連続で減少した。

(前年同月比：%)	12月	1月	2月	3月
大型小売店販売額（県内既存店）	-2.0	-1.4	1.0	-3.0
〃（全国既存店）	-1.7	-0.7	0.5	-7.5
コンビニエンスストア販売額（5 県全店）	5.6	7.6	8.6	9.9
家電販売額（8 県全店）	-24.6	-14.7	-0.2	-13.5
自動車（新車）登録台数（県内）	-34.1	-20.3	-11.7	-31.8
〃（全国）	-28.3	-21.5	-14.3	-37.0
軽自動車（新車）販売台数（県内）	-15.8	-12.9	-17.2	-30.7
〃（全国）	-11.4	-7.8	-9.0	-31.6
自動車・軽自動車 合計（県内）	-27.4	-17.4	-13.9	-31.4
〃（全国）	-22.7	-16.7	-12.4	-35.1

(3) 住宅建設

- ・ 新設住宅着工戸数は 694 戸で、前年同月比 12.6%減と 2 か月ぶりに減少した。

(前年同月比：%)	12月	1月	2月	3月
新設住宅着工戸数	6.3	-15.9	13.7	-12.6
（参考）（持家）	14.5	-4.7	-5.6	-13.8
（貸家）	-5.0	-42.4	68.0	-18.6
（分譲住宅）	88.7	1.7	3.1	16.7

(4) 公共工事受注（1件500万円以上の工事：発注者別請負契約額）

- ・公共機関からの建設工事受注工事額は173億2千万円となり、前年同月比53.5%減と3か月連続で減少した。
- ・「国の機関」からの受注工事額は94億7千2百万円となり前年同月比38.1%減と4か月連続で減少し、「地方の機関」からの受注工事額は78億4千8百万円となり前年同月比64.3%減と3か月連続で減少した。

(前年同月比：%)	12月	1月	2月	3月
受注工事総数（県内）	9.4	-58.2	-47.5	-53.5
国の機関	-56.1	-68.1	-18.7	-38.1
地方の機関	75.1	-35.9	-70.6	-64.3
受注工事総数（全国）	-15.4	-15.8	9.5	-9.5

(5) 雇用情勢

- ・有効求人倍率は0.73倍となり、前月を0.01ポイント上回った。
- ・所定外労働時間指数は、前年同月と同水準となった。
- ・常用雇用指数は、前年同月比2.5%減となり25か月連続で低下した。
- ・名目賃金指数は、前年同月比0.9%増となり4か月連続で上昇した。
- ・完全失業率（全国値）は、4.6%で前月と同水準となった。

(※前年同月比：%)	12月	1月	2月	3月
有効求人倍率（三重県、倍）	0.62	0.68	0.72	0.73
"（全国、倍）	0.58	0.61	0.62	0.63
所定外労働時間指数※	1.9	-2.0	1.0	0.0
常用雇用指数※	-1.9	-2.2	-1.8	-2.5
名目賃金指数※	5.0	2.5	2.3	0.9
完全失業率（全国）	4.9	4.9	4.6	4.6
(参考)完全失業率(三重県:先行推計値)	3.5(10~12月期)

*完全失業率3月の全国値は、東北3県を除く。

(6) 企業倒産

- ・企業倒産は10件発生した。負債総額は8億4千3百万円で、前年同月比は65.4%減と3か月連続で減少した。

(※%：前年同月比)	12月	1月	2月	3月
企業倒産件数（件）	10	6	12	10
負債総額（%）※	71.6	-70.3	-17.8	-65.4

(7) 消費者物価

- ・消費者物価指数（H17=100）は101.2で、前月比は0.3%上昇、前年同月比では0.6%上昇した。

(前月比、※前年同月比：%)	12月	1月	2月	3月
消費者物価指数（4市平均）	-0.2	-0.1	0.1	0.3
" ※	0.3	0.5	0.5	0.6
"（全国）	-0.3	-0.2	-0.1	0.3

3. 景気動向指数 (CI 指数)

- 一致指数（景気の現状を示す指標）は 79.0 となり、前月と比較して 8.7 ポイント下降した。一致指数からみる県内経済の基調は、改善を示している。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 5 か月連続で上回り、57.1%となった。

(※前月差：ポイント)	12月	1月	2月	3月
CI一致指数 ※	-5.2	9.1	4.8	-8.7
3か月後方移動平均※	0.3	4.7	2.9	1.8
7か月後方移動平均※	0.0	0.9	2.1	0.9
DI一致指数 (%)	57.1	85.7	71.4	57.1

- 先行指数（3 月時点よりも半年程度先の景気を示す指標）は 95.3 となり、前月と比較して 3.8 ポイント下降した。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 6 か月連続で上回り、64.3%となった。

(※前月差：ポイント)	12月	1月	2月	3月
CI先行指数 ※	0.1	7.9	8.3	-3.8
3か月後方移動平均※	-1.7	2.4	5.4	4.2
7か月後方移動平均※	0.0	1.2	2.1	0.9
DI先行指数 (%)	71.4	71.4	71.4	64.3

